

1970年代に入ると、アルペン競技の世界は

多極化の時代に入った。

最初の挑戦者は、ポーランドから来たザグ
パーネ大学生、アンドレ・バフレダであり、

続いて、ブルガリアのペーター・ポパンゲロ

フ、ユーゴのボヤン・クリジャイ、さらに

ソ連のウラジミール・アンドレーエフ、アン

ドレ・シエロフであった。

彼らは、華やかな舞台上で輝き、それぞれ

の国でアルペン競技を普及させたのである。

No.